

# 全国邪馬台国連絡協議会会報 第10号

# 邪馬台国新聞

発行 2020年4月30日

頒布価格 500円

発行所 全国邪馬台国連絡協議会

発行者 会長 井上修一

〒105-0013 東京都港区浜松町2丁目2番15号  
浜松町ダイヤビル2F

URL <http://zenyamaren.net>

E-mail: [zenyamaren.media@gmail.com](mailto:zenyamaren.media@gmail.com)

全国邪馬台国連絡協議会 基本理念	1
全邪馬連・新体制に寄せて／大会を振り返る／奈良文化財研究所に対する情報開示請求についての報告	3
顧問投稿	4
吉岐 一郎、岩元 正昭、小田 静夫、島津 義昭、関 裕二、宝賀 寿男、森岡 秀人、安本 美典	
会員投稿	17
伊藤 雅文、槌田 鉄男、蓮沼 啓介、福島 巖、山科 威、山田 昌行	
特別投稿	21
内野 勝弘	
わが図書語る	24
池間 忠次、柴田 克彦、槌田 鉄男	
会員募集のお願い	24

## 全国邪馬台国連絡協議会(全邪馬連) 2020年度(令和2年度) 基本方針 会長 井上修一

### 運営理念

#### 1. 和を以て貴しとなす。(組織の精神論)

- ・聖徳太子のこの言葉には前段があります。即ち「衆議を尽くせ」とあるのです。よく議論し、意見を出し尽くした上での「和」なのです。議論の結果、お互いに確執を醸したり、恨みを抱くような事があつては、組織は継続しません。我々のような団体には特にその精神が必要です。「和」・「礼節」・「尊厳」を保ち、古代史の解明を通じて、会員同士が楽しく和やかな場を持てるよう努力したいものです。

#### 2. We are on the same boat. (組織の体制論)

- ・当会の設立趣旨と運営理念の「和」を尊び、本部と支部が一体となって活動の輪を広げましょう。本部と支部の役割を明確にして、可能な限り本部は支部を支援します。

##### <役割>

- ・本部の役割……基本方針作成、ビジョンの推進、古代史の解明のため研究者、研究機関との連携、運営資金の確保、会長、副会長の積極的営業活動、本部と各支部との連携。
- ・支部の役割……支部方針、会員募集と維持策、支部の自主性を高め独自に経営できる体質の確保。

#### 3. 腹が減っては戦はできぬ。(組織の財政強化)

- ・いかなる組織であっても、最低限の経済的な保証が無ければ活動はままなりません。現在の会費収入以外に、会の歳入となる方法を模索し、実施します。

